

町ぐるみ国際貢献へ条例

岡山県の
加茂川町

岡山県御津郡加茂川町
(片山舜平町長)は八日、
海外での難民救済や被災地
援助に町職員を派遣するこ
となどを定めた「国際化の

推進に関する条例」案を町
議会に提案し、全会一致で
可決された。町全体で国際
貢献に取り組む条例ができ
たのは、全国の自治体でも

珍しい。

条例は前文と目的、基本
理念、事業、委任の四条か
ら成る。国際交流にとどま
らない人的交流を深めるこ

とが目的で、①地方自治体
の特性を生かした国際貢献
②国際貢献を進める組織の
育成③関連機関との交流な
ど六つの事業を進める、と
している。具体的には、上
下水道整備、土木作業など
町がもつ技術を活用して、
発展途上国の被災地への町
職員、町民の派遣▽世界保
健機関(WHO)など国際
機関への町職員の派遣▽外
国人技術者らの受け入れ
——などを実施するとい
う。運営費は主に一般会計
でまかなうとしている。

同町は昨年七月、内戦の
続くソマリアに職員二人を
派遣。岡山市に本部をおく
民間医療ボランティアのア
ジア医師連絡協議会(A
M D A、菅波茂代表)の医師
らと約二週間、物資運搬な
どを手伝い、この経験が条
例のきっかけとなった。同
町はA M D Aが進めて三月
に発足予定の「地方自治体
国際緊急援助団」構想にも
参加する方針で、片山町長
は「町おこしにつながる国
際貢献を展開したい」と話
している。